

# 第164期株主通信

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

## CONTENTS

株主の皆様へ	1
決算ハイライト	1
業績の概況及び業績予想	2
中期経営計画の進捗	3
新規グループ会社の紹介	4
連結財務諸表・株主優待制度	5
概況	6
ご案内	裏表紙



三井松島ホールディングス  
MITSUI MATSUSHIMA HOLDINGS

# 株主の皆様へ



株主の皆様には、日頃より当社事業へのご理解と格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様と、感染拡大により生活に影響を受けている地域の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

ここに当社グループ第164期株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

2020年6月19日付で、代表取締役社長に就任いたしました吉岡泰士です。100有余年の伝統を重ねる当社の社長という重責を担うことになり、身の引き締まる思いがしております。

株主の皆様には、新たな経営体制のもとで更なる成長を目指す当社グループの今後の取り組みを、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

当社は、資源ビジネスの環境変化にとらわれない事業構造への転換を目指し、石炭関連以外の分野における積極的なM&A投資により収益基盤の安定化・多様化に取り組んでまいりました。

昨年度までに実施いたしましたM&Aにより、日本ストロー(株)

(飲食用資材分野)、花菱縫製(株)(衣料品分野)、グリーンサアフェイス技術(株)(電子部品分野)、(株)明光商会(事務機器分野)が当社グループ入りしており、その収益への貢献度につきましては、次頁※①②に記載の通りであります。

また、本年4月には新たに(株)ケイエムテイ(ペット分野)、並びに三生電子(株)(電子部品分野)を傘下に加えております。両社の事業は、当社がM&Aにおいて重視する「ニッチ」「安定収益」「わかりやすい」という投資軸に合致したものであり、事業ポートフォリオの中の重要な柱の一社として、グループの企業価値向上に大いに貢献出来るものと考えております。(4頁の「生活関連事業(新規グループ会社)の紹介」をご参照)

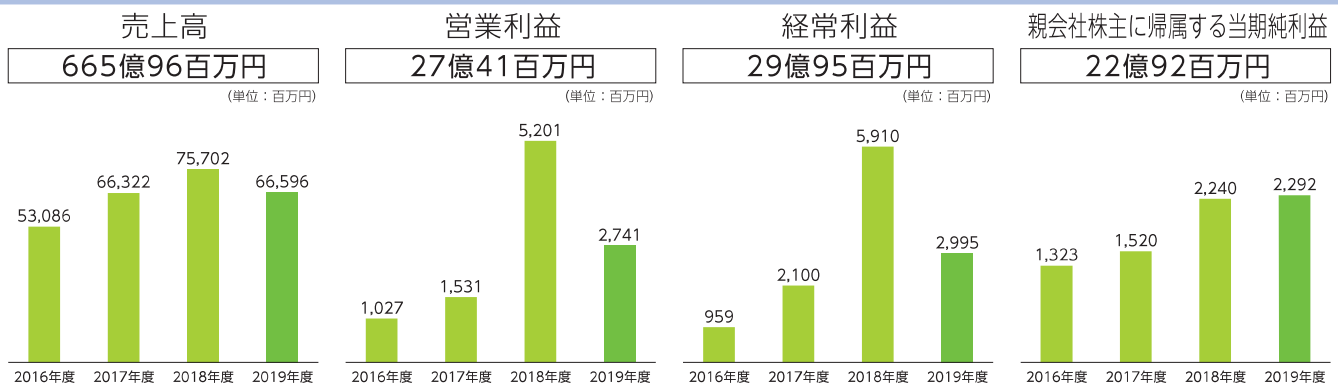
一方、昨今では新型コロナウイルス感染拡大の影響により、世の中の景気の先行きが極めて不透明になり、当社グループにおいても事業環境の大きな変化に直面しております。しかしこのような状況下においてこそ、グループ全体の収益基盤を増やすことが企業価値向上のためにこれまで以上に重要になるとも考えております。

そのため当社は、昨年よりスタートした中期経営計画に従ってM&A投資による事業ポートフォリオの多様化を一層進め、厳しい環境下においてもキャッシュフローを創出できる企業グループの形成に取り組んでまいります。(3頁の「中期経営計画の進捗」をご参照)

株主の皆様におかれましては、本誌を通じて、当社グループの取り組みに対するご理解を一層深めていただき、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月  
代表取締役社長 吉岡 泰士

## 【連結業績ハイライト】



## 【連結セグメント情報】

売上高 (単位: 百万円)				セグメント利益 (単位: 百万円)			
事業名	2019/3期実績	2020/3期実績	対前期比較増減額	事業名	2019/3期実績	2020/3期実績	対前期比較増減額
エネルギー	56,722	41,010	▲15,711	エネルギー(のれん償却前)	5,387	3,291	▲2,095
石炭販売分野 販売数量	52,130 427万トン	34,964 365万トン	▲17,165 ▲62万トン	石炭販売分野	202	127	▲74
石炭生産分野 販売数量	15,839 125万トン	13,073 123万トン	▲2,765 ▲1万トン	石炭生産分野 (内、持分法投資損益)	5,026 (185)	3,031 (80)	▲1,995 (▲105)
再生可能エネルギー分野	334	308	▲25	再生可能エネルギー分野	158	132	▲25
調整額	▲11,580	▲7,336	4,244	調整額	-	-	-
生活関連	17,603	24,215	6,611	生活関連 (のれん償却前)	1,159 (1,621)	802 (1,520)	▲356 (▲100)
その他	1,312	1,310	▲2	その他	74	58	▲16
調整額	64	60	▲3	調整額	▲1,420	▲1,410	9
合計	75,702	66,596	▲9,106	合計 (のれん償却前)	5,201 (5,733)	2,741 (3,459)	▲2,459 (▲2,273)

※「エネルギー」におけるセグメント利益には持分法投資損益(2019/3期 185百万円、2020/3期 80百万円)が含まれております。  
 ※「その他」は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び港湾事業等を含んでおります。  
 ※「調整額」における売上高は、全社資産の賃貸収入が含まれており、セグメント利益には、上記持分法投資損益の控除、各報告セグメントに配分していない全社収益・全社費用等が含まれております。

## 2020年3月期の連結業績

### 2020年3月期業績の概況

当連結会計年度の業績につきましては、生活関連事業における(株)明光商会（事務機器分野）の子会社化による増収があったものの、エネルギー事業の石炭販売分野における石炭販売数量の減少及び石炭価格の下落などにより、売上高は66,596百万円と前年同期比9,106百万円（12.0%）の減収となりました。

営業利益は、エネルギー事業の石炭生産分野における石炭価格の下落などにより、2,741百万円と前年同期比2,459百万円（47.3%）の減益となりました。

経常利益は、営業外収益に受取利息306百万円を計上したものの、営業外費用に支払利息171百万円及びシンジケートローン手数料111百万円を計上したことなどにより、2,995百万円と前年同期比2,914百万円（49.3%）の減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失に減損損失392百万円及び投資有価証券評価損102百万円を計上したものの、特別利益に関係会社株式売却益599百万円を計上したことなどにより、2,292百万円と前年同期比51百万円（2.3%）の増益となりました。

### 【エネルギー事業】

売上高は、石炭販売分野における石炭販売数量の減少及び石炭価格の下落などにより、41,010百万円と前年同期比15,711百万円（27.7%）の減収となりました。セグメント利益は、石炭生産分野における石炭価格の下落などにより、3,291百万円と前年同期比2,095百万円（38.9%）の減益となりました。

### 【生活関連事業】

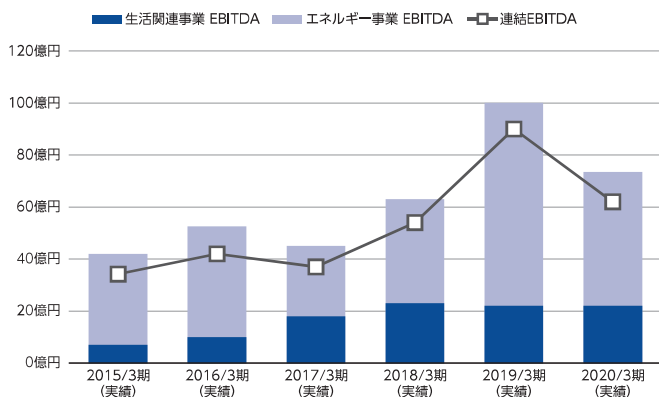
売上高は、(株)明光商会（事務機器分野）を子会社化したことに伴い、24,215百万円と前年同期比6,611百万円（37.6%）の増収となりました。セグメント利益は、衣料品分野における販売減少及び電子部品分野における受注の減少などにより、802百万円と前年同期比356百万円（30.8%）の減益となりました。

## 業績予想と新型コロナウイルスの影響

- **新型コロナウイルスの影響を現段階において適正かつ合理的に算定することが困難であることから、2021年3月期の業績予想の開示を見送ること**といたしました。
- 2021年3月期業績及び1株あたり配当の予想は、算定可能となった段階で速やかに公表いたします。
- 想定される各事業への影響は以下の通りです。

事業分野	事業への影響（5/13時点）	コロナ対応が長期化した場合の影響
石炭生産・販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産活動に大きな影響はありません。</li> <li>・石炭価格は軟調な動きが見受けられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石炭価格の更なる下落や販売数量の減少。</li> </ul>
衣料品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（百貨店）店舗の休業による受注減少。</li> <li>・（自社店舗）店舗休業日の増加や営業時間短縮を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（百貨店）休業期間の延長。</li> <li>・（自社店舗）更なる店舗営業の自粛。</li> </ul>
事務機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先企業にてテレワークや面談自粛を推奨する動きが強まっており、営業活動や納入作業に支障をきたしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期にわたる営業活動の停滞。</li> <li>・取引先企業の設備投資の見送り。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特段大きな影響は見受けられません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人・モノの動きが滞り、景気の悪化傾向が強まれば、市場の縮小が懸念されます。</li> </ul>

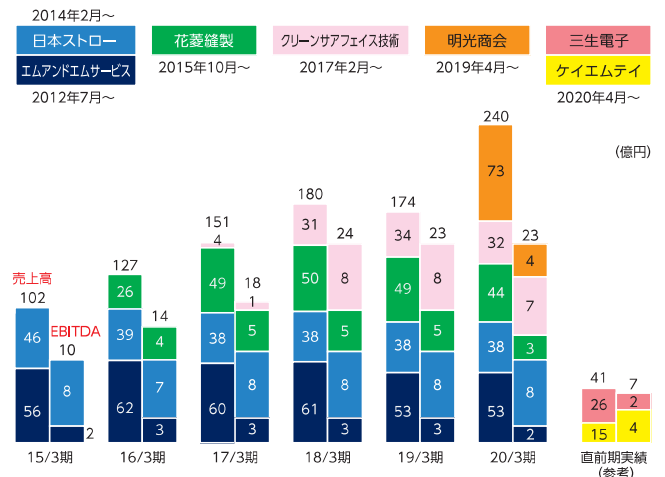
### ※①エネルギー事業・生活関連事業・連結のEBITDA※推移



● 新規事業の育成・強化を積極的に推進してきた事により、生活関連事業が会社全体のEBITDAの底上げに寄与。

※EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費

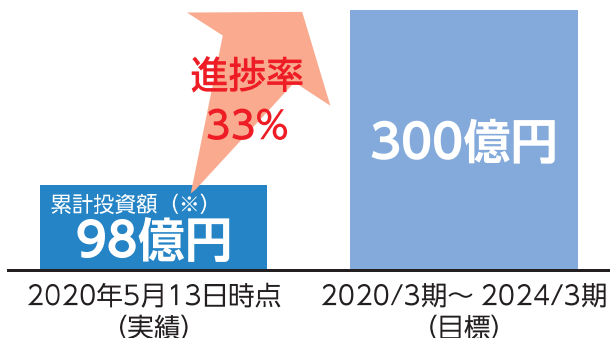
### ※②近年の生活関連主要事業の売上・EBITDA推移



# 中期経営計画の進捗

- 新規M&A投資の着実な実行を通じた**非石炭生産事業の利益成長**により、中期経営計画における定量目標の達成へ。

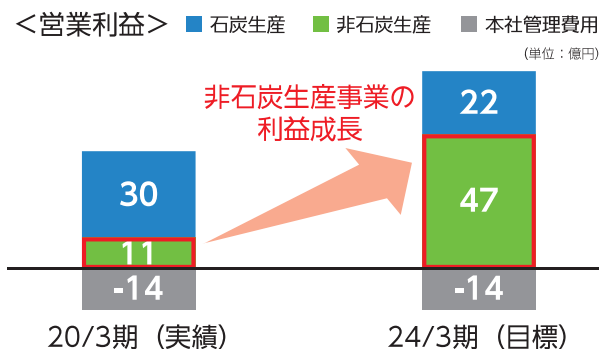
<M&A投資額>



中期経営計画  
定量目標

	18/3期 (実績)	19/3期 (実績)	20/3期 (実績)	24/3期 (目標)
連結営業利益	15億円	52億円	27億円	55億円
石炭生産事業	11億円	50億円	30億円	22億円
非石炭生産事業	16億円	16億円	11億円	47億円
本社管理費用	▲12億円	▲14億円	▲14億円	▲14億円
ROE	4.5%	6.7%	7.0%	8%～
配当性向	34.4%	29.1%	28.4%	30%～ (原則)

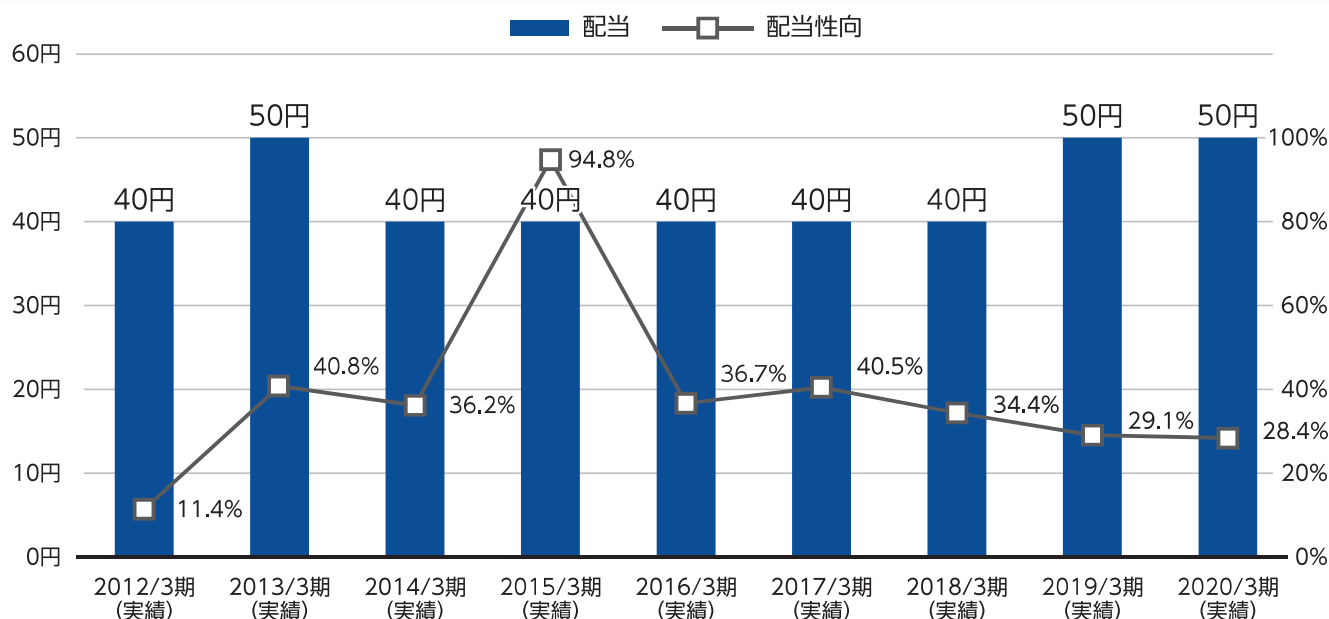
<営業利益>



※株式+純有利子負債

## 配当方針と配当金の推移

- 2020年3月期の配当を50円といたしました。
- 当社は、株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけており、将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な**内部留保を確保**しつつ、**経営成績に応じた株主様への利益還元を継続的に行う**ことを基本としております。
- **中期経営計画における配当性向目標(30%以上)**を目安としますが、最終的には総合的な観点から決定いたします。



※2016年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、当該株式併合が行われたと仮定し、1株あたり配当額を算定しております。



# 生活関連事業(新規グループ会社)の紹介

## ペット分野

株式会社ケイエムテイ (<https://kmt-dogfood.com/>)

- 2020年4月に株式を取得しました。
- **予防医学**に基づいた**高品質プレミアムペットフード**の企画・販売。  
**ヒューマングレードの原材料**を使用し、**添加物・着色料・副産物不使用**などペットの健康に配慮した商品を展開しております。
- **全国のペットブリーダーや動物病院からも高い支持**を得ており、高品質な健康プレミアムペットフード市場において強いブランド力と高いシェアを有しています。
- 今後ペットの“家族化”が一段と進展すると、同社製品に対する需要の増加が期待されます。



## 商品紹介



口腔内環境からの健康維持に着目。  
原材料にもこだわり、新鮮素材を使用。

～特徴的な原材料一例～

- **K12(口腔内善玉菌)**  
口内環境の改善に役立つ
- **EF2001乳酸菌**  
腸内環境の改善に役立つ
- **グルコサミン・コンドロイチン**  
関節の健康維持に役立つ
- **アガリクス茸**  
豊富なβ-グルカン

アガリクス I/S



豊富な栄養成分と免疫力・  
自己治癒力の向上を  
サポートする最高品質のフード。

～特徴的な原材料一例～

- **EF2001乳酸菌**
- **グルコサミン・コンドロイチン**
- **アガリクス茸**



## 電子部品分野

三生電子株式会社 (<http://www.sanseidenshi.co.jp/>)



- 2020年4月に株式を取得しました。
- 水晶デバイスの生産に必要な製造装置及び計測機器を製造・構築し、水晶デバイスメーカーに対し販売を行っております。
- 水晶デバイスの製造工程のうち組立～検査まで幅広くカバーした**インラインシステム**を製造可能な**国内唯一の装置メーカー**です。
- 日系企業だけでなく、台湾・中国メーカーに直販できていることが競争力の源泉となっています。

## 水晶デバイスとは？

- **水晶の(逆)圧電効果**(物質に電圧をかけると高速かつ精確に振動する性質)を利用した電子部品。
- あらゆる電子機器に搭載され、特に無線接続機器(スマートフォンなど)には**必要不可欠な電子部品**。
- 自動車のエレクトロニクス化や通信インフラの5G対応など**成長分野での用途拡大**が見込まれます。

<水晶デバイスの製造工程>



# 連結財務諸表

## 【連結貸借対照表】

(単位：百万円)

科目	当期末 2020年3月31日現在	前期末 2019年3月31日現在	増減
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	32,881	29,480	3,401
固定資産	30,274	27,984	2,290
有形固定資産	15,855	17,099	△1,243
無形固定資産	10,445	6,084	4,360
投資その他の資産	3,973	4,800	△826
資産合計	63,155	57,464	5,691
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	14,071	12,358	1,713
固定負債	16,082	12,143	3,938
負債合計	30,154	24,502	5,651
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	34,152	32,516	1,636
その他の包括利益累計額	△1,151	445	△1,596
純資産合計	33,001	32,961	39
負債・純資産合計	63,155	57,464	5,691

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 【連結損益計算書】

(単位：百万円)

科目	当期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	増減
売上高	66,596	75,702	△9,106
売上原価	55,204	64,816	△9,612
売上総利益	11,391	10,885	505
販売費及び一般管理費	8,649	5,684	2,964
営業利益	2,741	5,201	△2,459
営業外収益	731	931	△199
営業外費用	477	222	255
経常利益	2,995	5,910	△2,914
特別利益	711	437	274
特別損失	747	2,101	△1,353
税金等調整前当期純利益	2,959	4,245	△1,286
税金費用等	667	2,005	△1,338
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,292	2,240	51

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

# 株主優待制度について

2020年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様に対し、以下の株主優待制度を実施しております。  
今後も、株主の皆様にご喜んでもいただける株主優待制度を提供してまいります。

### ①施設優待割引券(3,000円)

#### ■対象となる株主様

所有株式数：

- 100株以上～1,000株未満……2枚
- 1,000株以上～3,000株未満……4枚
- 3,000株以上……6枚



#### ■対象施設(全国計17施設)

- ①(株)エムアンドエムサービスが運営する宿泊施設(計16施設)
- ②三井港倶楽部(お食事のみ)：福岡県大牟田市

### ②花菱縫製(株)

### オーダー商品お仕立てギフト券(10,000円)

#### ■対象となる株主様

所有株式数：

- 100株以上～1,000株未満……1枚
- 1,000株以上……2枚

#### ■対象商品 スーツ、ジャケット、コート

※1着につき1枚の利用が可能



## 2019年度発行の株主優待割引券の有効期間延長に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大に鑑みまして、2019年3月期の株主優待割引券の有効期間を、下記の通り2020年12月31日まで(6ヶ月間)延長いたします。

施設優待割引券 花菱縫製(株)オーダー商品 お仕立てギフト券	現在の有効期限	延長後の有効期限
	2020年6月30日まで	2020年12月31日まで

※詳細は2020年5月13日開示の「株主優待券の有効期間延長に関するお知らせ」をご覧ください。  
[https://www.mitsui-matsushima.co.jp/pdf/other\\_5ebb780037ffa.pdf](https://www.mitsui-matsushima.co.jp/pdf/other_5ebb780037ffa.pdf)

# 概況

## 会社の概況

### 会社概要

(2020年6月19日現在)

商号	三井松島ホールディングス株式会社
設立	1913年1月25日
資本金	85億7,179万5,866円
従業員数	1,274名(連結)45名(単体)※2020年3月末現在
主要な事業内容(連結)	石炭の生産・販売等 シュレッダーを中心とする事務用設備の製造・販売・保守 紳士服・婦人服・ワイシャツの企画・生産・販売及び受託生産 ストローの製造販売及び包装資材の仕入販売 液晶パネル・有機EL・電子部品等を中心とした様々な用途のマスクブラックスの製造・販売 水晶デバイス用計測器・生産設備の製造販売、並びに関連するハードウェア・ソフトウェアの製造販売 ペットフード類・ペット関連用品の輸入国内販売

### 主要な事業所

本社：  
福岡市中央区大手門一丁目1番12号  
大手門パインビル  
東京支社：  
東京都品川区東品川四丁目12番6号  
日立ソリューションズタワーB19F

### 連結子会社

- 三井松島産業株式会社
- MITSUI MATSUSHIMA INTERNATIONAL PTY.LTD.
- MITSUI MATSUSHIMA AUSTRALIA PTY.LTD.
- MMI Indonesia Investments PTY LTD.
- MM Coal Tech株式会社
- MMエナジー株式会社
- 合同会社津屋崎太陽光発電所No.1
- 合同会社津屋崎太陽光発電所No.2
- 合同会社津屋崎太陽光発電所No.3
- 三井松島リソース株式会社
- 株式会社明光商会
- 花菱縫製株式会社
- 日本ストロー株式会社
- クリーンサアフェイス技術株式会社
- 三生電子株式会社
- 株式会社ケイエムテイ
- 松島港湾運輸株式会社
- 株式会社大島商事
- MMライフサポート株式会社
- 港倶楽部オペレーションズ株式会社

### 取締役体制

(2020年6月19日現在)

代表取締役会長	串間	新一郎
代表取締役社長	吉岡	泰士
取締役	天野	常雄
取締役	檜垣	博紀
取締役(常勤監査等委員)	野元	敏博
取締役(常勤監査等委員)	荒木	隆繁
取締役(監査等委員)	野田部	哲也

(注)取締役 檜垣博紀氏、荒木隆繁氏、野田部哲也氏は社外取締役であります。

### 執行役員体制

(2020年6月19日現在)

常務執行役員	井上	晃治郎
常務執行役員	永野	毅
執行役員	和田	吉高
執行役員	小林	俊哉
執行役員	阿部	美紀子

## 株式の概況

### 株式の状況

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	13,064,400株
株主数	10,831名

### 大株主(上位10名)

(2020年3月31日現在)

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,432	10.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,732	5.17
那須 功	5,520	4.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,842	2.95
中島 尚彦	3,700	2.84
株式会社三井住友銀行	3,318	2.55
株式会社親和銀行	3,268	2.51
ディエフエイ インターナショナル スモールキャップ バリュースポーツフォリオ	2,777	2.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,189	1.68
ジェーピー モルガン チェース バンク 385151	1,867	1.43

(注)1. 持株比率は、自己株式59,658株を控除して計算しております。  
2. 2018年6月22日開催の第162回定時株主総会にて導入を決議した「株式給付信託(BBT)」に係る資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)所有の当社株式59,200株を自己株式数に含めております。

### 株式分布の状況

(2020年3月31日現在)

所有者	株主数(名)	株式数(株)	比率(%)
金融機関	31	4,632,550	35.46
証券会社	34	182,583	1.40
事業法人他	79	553,820	4.24
外国法人等	118	2,351,920	18.00
個人・その他	10,569	5,343,527	40.90
合計	10,831	13,064,400	100.00

所有株数	株主数(名)	株式数(株)	比率(%)
10万株以上	20	5,963,455	45.65
1万株以上	105	3,086,198	23.62
千株以上	1,090	2,309,132	17.68
百株以上	8,664	1,694,505	12.97
百株未満	952	11,110	0.08
合計	10,831	13,064,400	100.00

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-7111(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 URL <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所 福岡証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 ● 公告掲載URL <a href="https://www.mitsui-matsushima.co.jp/">https://www.mitsui-matsushima.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



# ご案内

## 衣料品分野 花菱縫製株式会社

1935年創業。「オーダースーツ」の先駆者として、商品開発から生産・販売までの国内一貫体制による事業を展開。大手百貨店や多くの消費者の皆様から高い評価を得ています。

お客様の要望にお応えしてカスタマイズするオーダーの強みを活かし、**車いす利用者向け商品を提供**するなど、今後もオーダースーツだからできる楽しさをあらゆる人に伝えてまいります。

2020年3月、「麻布テーラー」などのブランドを展開するメルボグループとオーダースーツ生産・販売事業の統合に関する基本合意書を締結しております。



HANABISHI銀座店



<https://www.hanabishi-housei.co.jp/> 検索はこちら→

花菱

検索

## 三井港倶楽部

2017年6月、当社は福岡県大牟田市の指定有形文化財「三井港倶楽部」を取得。一時は三井グループを離れ、地元の有志団体により運営されていた同施設の所有権・運営権を引き継ぎ、建物や設備の改修を行い、2018年4月にリニューアルオープンしております。(管理運営は、港倶楽部オペレーションズ(株))



財閥の社交場であった迎賓館で歴史と風格を感じながら、「フレンチの鉄人」坂井宏行シェフの美食をお楽しみください。

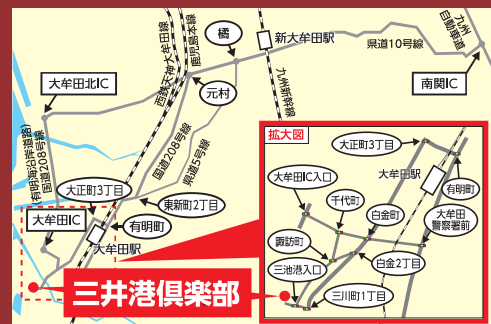


三井港倶楽部

〒836-0062  
福岡県大牟田市西港町2-6  
電話 0944-51-3710

JRおよび西鉄電車  
大牟田駅より車で約8分  
有明海沿岸道路  
大牟田ICより車で4分

レストラン 昼 11:30~15:00  
夜 17:30~21:00  
施設見学(無料) 10:00~17:00  
定休日 火曜日、特定日(不定)



<https://www.mitsui-minatoclub.com/> 検索はこちら→

三井港倶楽部

検索